



チーム玉幡



第16号

R6 3月14日

文責 花形 一満

6年生ありがとう！そして、卒業おめでとう！

3月1日（金）に「6年生を送る会」を行いました。新児童会が6年生を送る会実行委員となり、5年生が中心となって準備を進めてくれました。下級生は、6年生に感謝の気持ちを込めてメッセージを書いたり、各学年で6年生に送る発表の練習をがんばったり、



6年生に心を込めて準備を進めてきました。そして、体育館も下級生みんなで分担して作った飾りで、すてきな会場もできあがりしました。



取組の中で、5年生は、下級生の先頭に立ってがんばってくれました。たてわり班をまとめたり、写真立てのプレゼントを作ったり、とても大変だったと思います。次期リーダーの5年生の様子に頼もしさを感じました。



当日は、どの学年も練習の成果を発揮し、6年生へ心のこもった発表で、感謝の気持ちが伝わるすばらしいものばかりでした。



また、6年生から下級生へのプレゼントの発表も、「迫力のある合奏」「心のこもった呼びかけ」「とてもきれいな合唱」と、さすが6年生と思わせる心のこもったものでした。そのほかに、6年生に関するクイズ・下級生から感謝の呼びかけ・プレゼント・全校

合唱と短い時間でしたが、心がホッコリあたたかくなる時間でした。



6年生が、この1年間、リーダーとしてがんばってきたからこそ、下級生の心のこもったすばらしい「6年生を送る会」になったのだと思います。これまでに6年生は、下級生を優しく導き、リーダーシップを発揮して全校をまとめてくれました。ありがとうございました。そして、卒業おめでとうございました。

6年生から感謝の気持ち

玉幡小学校を卒業していく6年生が、下級生や学校に感謝の気持ちをあらわそうと、いろいろな取組を行ってくれました。

下級生には、休み時間に一緒に交流して感謝の気持ちを伝えました。各クラスに「6年生にしてほしいこと」のアンケートをとり、日にちを設定して交流しました。下級生とドッジボールや鬼ごっこ、だるまさんがころんだなどをして交流しました。会の最後には、6年生からありがとうの言葉を贈りました。6年生も下級生もとてもよい思い出ができました。

学校へは、6年間過ごした校舎の清掃や先生方のお手伝いをして感謝の気持ちをあらわしました。3月7日の5・6校時に、先生方からリクエストがあった水道場の掃除や窓ふき・教室や廊下の掲示物ががし・音楽準備室の整理など精力的に作業をしてくださいました。6年生は、日頃の掃除の時間でも、黙って、本当によくやってくれ、いつも感心していました。6年生の素晴らしい取組が、玉幡小の伝統の一つとなってくれたらとても嬉しいです。



最後の授業 卒業式に向けて

3月19日（火）の卒業証書授与式に向けて練習が進んでいます。今年の卒業式のテーマ

『6年間の思い出と感謝を胸に 最高の仲間と 輝く未来へ 旅立とう！』

のもと、6年生はもとより、5年生も式や呼びかけ、合唱にと練習に取り組んでいます。時折、進み具合を見に体育館へ行ってみますが、どの子どもたちも真剣に練習に取り組んでいます。呼びかけや合唱の声もよく出るようになり、姿勢もよくなってきました。日に日に子どもたちの意気込みも増し、上達してきています。

卒業式の練習を通して、6年生は最後の授業として、小学校を巣立っていく想いを、5年生は先輩の築いてきたあゆみを受け継いで進級していくことへの決意を、練習を重ねるごとに固めているように感じられます。まさに、長年培ってきた玉幡小学校のよき伝統を伝えていくシーンに立ち会っている思いです。

